

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 筋層浸潤性膀胱癌の治療反応性と予後における VCAN 及びその関連因子の意義の解明 』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 泌尿器 科 職位・氏名 講師・三井要造

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、筋層浸潤性膀胱癌における VCAN と呼ばれるタンパクとそれに関するタンパクが、膀胱全摘除術前の抗癌剤の効果を減弱している可能性と、その後の治療予後に関連しているか、を確証することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、術前の抗癌剤の適切な選択に加えて、より効果的な治療法の開発につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料：手術時の膀胱の病理組織(内視鏡手術時と膀胱全摘除術時のもの)、

情報：病歴、手術時の年齢、合併症、身長、体重、術前の膀胱癌の情報(ステージ、悪性度)、術前抗癌剤治療の実施の有無・種類、抗癌剤投与に関連した副作用等の発生状況、奏効率、手術で摘出した組織の情報(ステージ、悪性度)治療期間における採血データ(血液一般像、LDH、ALP、AST、ALT、T-P、Ab、Hgb、Hct、電解質、CRP、血清Cr値)、術後再発の有無・期間、術後の生存の有無・期間、など。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年7月より利用を開始します

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2013年1月～2022年12月までに東邦大学医療センター大森病院泌尿器科において、筋層浸潤性膀胱癌の診断で内視鏡的手術と膀胱全摘除術を受けた方

方 法: 得られた組織標本を用いて VCAN とそれに関連するタンパクについて免疫染色を行い、診療録(カルテ)から抽出したデータを用いてそれらの関連性を解析します。(例: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。)

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院泌尿器科

研究代表者: 三井要造 役職: 講師

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院泌尿器科

研究責任者 三井要造

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院/

三井要造

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年6月30日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター 大森 病院 泌尿器 科

職位・氏名 講師・三井要造

電話 0337624151 内線 6695